

“Student Agency” を軸とした CAN-DO リストの 作成と効果的な活用に向けて

附属天王寺中学校 英語科

抄録：平成 25 年に文部科学省より「各中・高等学校の外国語教育における「CAN -DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き」が発表されて以降、本校でも CAN-DO リストの作成、修正を重ねてきた。それに加え、今後不安定な社会を生きていく生徒にとって、自ら考え、他者と協力して行動するための「生きる力」を育むべきとするねらいのもと、“Student Agency”を反映させた新たな CAN-DO リストを作成した。本論文では、新たな CAN-DO リストの提示と、その内容を踏まえたこれまでの授業実践の紹介を行う。

キーワード：英語教育, Student Agency, CAN-DO リスト, 言語活動

1. CAN-DO リスト作成の経緯

中学校英語科における CAN-DO リスト作成については、これまでも教科会等を通じて行ってきたが、今年度は高等学校との連携を踏まえ、内容の改訂を行うことにした。中高英語科会議において、高等学校側から“Student Agency”を項目として追加することが提案され、それを受けてまず、中学校卒業時の生徒像をイメージし、“Student Agency”の内容を言語化することにした。“Student Agency”については、「自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していく姿勢・意欲」（2017 文部科学省）と定義されており、本校では独自に「①自己や他者」「②協同学習」「③主体性・学び方」の 3 項目から、各学年の指導内容をつなぐを踏まえて整理した。

次に、CAN-DO リストの見直しと修正を行った。修正については、4 技能 5 領域において、まずは中学 3 年生の内容から作成し、続いて 2 年生、1 年生へとつなげていった。なお、中学 1 年生については、小学校との連携を考慮して作成している。今後、高等学校との連携を鑑みてさらに内容の精査を行い、次年度以降に活用しながら、随時内容の修正、更新を行っていく予定である。

CAN-DO リスト作成時には、他校で実施されている既存のものも参考に、本校生徒の学力や学習実態に合うように留意している。また、その実現性についても深く吟味し、実際活用可能なものかどうかという視点も考慮している。また、今年度は各学年の CAN-DO リスト作成と並行して、授業における言語活動と、その下支えとなる学習活動のバランスも考えながら、リストで示した内容をもとに、単元における言語活動の設定等を行った。

<p>【中 3】</p> <ul style="list-style-type: none">・世界の現状を知り、主体的に考えることで、自己の生活や生き方について深く考えることができる。・他者と協同することで、社会的課題等の困難な状況に対し、自分たちができることのアイディアを創出することができる。・メタ認知を通して、自己の学習方法に見通しを持ち、主体的に学び続けることができる。	<p>【中 2】</p> <ul style="list-style-type: none">・自己と他者との違いがあることで、考えが深まったり、新しいアイデアが生まれたりすることに気づく。・協同学習を通して、様々な考え方に触れ、自己の考えを深めることができる。・自己の学習スタイルを見つけ、試行錯誤しながらそれを深めたり、新しい方法にチャレンジしたりする。	<p>【中 1】</p> <ul style="list-style-type: none">・ありのままの自分を受け入れるとともに、他者との違いに気づき、認め合い、受け入れることができる。・協同学習を通して、他者と協力することの大切さに気づくことができる。・学習には様々な形態があることを知り、その中で自分に合ったものを見つけていくことの大切さを知る。
--	---	---

図 1 英語科 CAN-DO リスト “Student Agency”（暫定版）

2. CAN-DO リストの到達目標達成をねらいとした各学年の取り組み

1年生：教科書内容の発展的な学習として、各単元とSDGsとを関連付け（例：Wheelchair BasketballとSDGs Goal 10 Reduced Inequalities）、地球規模の諸問題について英語で考え、自分なりの意見や考えを伝え合う取り組みを行った。【話すこと（発表）】

2年生：①自主的・自律的に学習を継続できる生徒を育成するために、年度当初、個人で年度末までの長期目標や、それを達成するための短中期目標の設定を行い、学期末毎に自身の達成状況振り返りや目標や学習方法の修正を行った。目標の作成はGoogleフォームで行い、データとして履歴を保存していくことで、生徒が自身の成長過程や今後の修正点を一目で把握できるだけでなく、教員が授業の改善点を見出すためのツールとしたりして活用している。また、テストの効果的な勉強方法や自学自習ノートの活用法について、生徒の意見で特筆すべきものを要約し、Google Classroomで紹介することで、生徒自身で学習方法の修正を行う際の手だてを行った。【Student Agency】



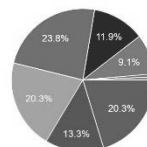
図3 既習文法説明の様子

②学習内容の定着を支援するために、ペアやグループでの協同学習（学び合い）を取り入れ、生徒どうしで内容習得やスキル向上を図れるように支援を行った。文法演習では、既習内容を活用して解く課題を設定し、早く解けた生徒は教師役として教室内を巡回し、「相手に分かりやすく伝えること」を条件として、スローラーナーへの解答補助を行った。

また、学習後しばらく経過した内容を教科書やChrome bookを参照して再整理し、ホワイトボードに記した例文や重要なポイントを使って相手に説明する取り組みを行った。振り返りシートの記載から、発表を聞いてこれまで分からなかったり見落としていたりしたポイントが明確になり、文法学習に有効であったという意見が多数（85.7%）を占めた。【話すこと（発表）】

8.2学期での英語学習を通して、最も上達した(達成できた)と思うのはどれですか。

143件の回答



- 語彙力(たくさん単語・表現を覚えて使える！)
- スピーキング力(発音やリズムを意識して話す)
- リーディング力(まとまった量の英文...)
- リスニング力(少しゆっくりしたら...)
- ライティング力(正しい英語でよ...)
- 英語学習の習慣(授業以外でも定期的...)
- とっさに要約する能力
- どれも当てはまらない

9.8について、その理由を教えてください。※上達した(達成できた)ことを具体的に！

143件の回答

授業はじめの単語クイズの時間が長くなり、その分上達することができた。

長文読解などで、今まで習ったことを最大限に活かし、文章を読み解くことができたと思うから。

今まで受けたテストの中で一番リスニングの点が良かったから

授業内でわかるようになってきた

図2 Googleフォームでの達成状況振り返り

3年生：教科書内容のRetelling及び、単元を通しての問い（例：What is happiness?）について、自分なりの答えを話す言語活動及び、パフォーマンステストを継続的に行った。

【話すこと（発表）】

3. CAN-DO リスト作成における参考資料

- ・千代田区九段中等教育学校（2021）『KUDAN CAN-DO リスト（2021-2022）』
- ・三省堂（2021）『令和3年度版 NEW CROWN CAN-DO リスト（1, 2, 3年生）』
- ・三省堂（2012）『中学校英語 CAN-DO リスト作成のヒントと実践例』
- ・文部科学省（2017）『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』

	聞くこと	読むこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
中3	<p>・教科書の題材と関連した社会的な話題等について、先生が話していることの概要を理解することができる。</p> <p>・はっきりと語られれば、イラストや図・グラフ等を参考にしながら、必要な情報を半断し、話の概要や要点を理解することができる。</p>	<p>・教科書の社会的な話題に関する内容を、写真や図などの資料を参考にすれば、80WPM程度の速さで読み、その概要や要点を捉えることができる。</p> <p>・パンフレットやWEBサイト、海外の学校の掲示物を見て、必要な情報を得ることができる。</p>	<p>・教科書の社会的な話題に関する内容を聞いたり、読んだりして、簡単なディスカッションができる。</p> <p>・過去の出来事や自分の経験などについて、即興で2分以上なりの学校のある会話を継続することができる。</p>	<p>・教科書の社会的な話題について、音読などで深く内容を理解した上で、イラストやキーワードをもとに、内容を知らない人にも分かりやすく、自分の意見も交えて伝えることができる。</p> <p>・日本のことや学校のことなどについて、外国の人に即興で伝えることができる。</p>	<p>・教科書の題材について、その要約を自分の言葉で、ある程度まとまりのある英文で書くことができる。</p> <p>・社会的な話題等について、その場で読んだ英文の内容に関して、考えたことや感じたことを、つながりのあるまとまった英文で書くことができる。</p>
中2	<p>・教科書の題材と関連した日常的な話題等について、先生が話していることの概要を理解することができる。</p> <p>・日常的な話題の説明や会話を聞いて、重要な情報を把握することができる。</p>	<p>・教科書の日常的な話題に関する内容を70WPM程度で読み、概要を捉えることができる。</p> <p>・コラムやウェブサイトの記事を読んで、その大まかな内容を読み取りことができる。</p>	<p>・身近な話題について、あらかじめ自分の考えを整理した上で、メモを見ながら簡単なディスカッションをすることができる。</p> <p>・自分の予定や思い、出などについて、即興で1分30秒以上なりのある会話を継続することができる。</p>	<p>・習ったばかりの教科書の内容について、自分の言葉で内容を伝えることができる。</p> <p>・事実や物事の好き嫌いなど自分の考えを、即興で述べるることができる。</p>	<p>・日常的な話題についての英文を読み、その内容をふまえて自分の考えやその理由を、まとまりのある英文で書くことができる。</p> <p>・事実や自分の考えを整理して、行きたい国や日本らしいお土産などについてのエッセーや絵カードなどを書くことができる。</p>
中1	<p>・教科書の題材と関連した日常的な話題等について、イラストなどを頼りに、先生が話していることの要点を理解することができる。</p> <p>・自分の興味のある事柄についての簡単な説明を聞いて、その大まかな内容を把握することができる。</p>	<p>・日常的な話題について書かれた短い内容を、写真などを参考に60BPM程度で読んで、そのあらすじをつかむことができる。</p> <p>・駅や商業施設などの表示を見て、必要な情報を得ることができる。</p>	<p>・学校生活や日常生活に関わる身近な話題について、メモなどを見ながら、自分の考えや意見を伝え合うことができる。</p> <p>・ごく身近なことについて、相手に質問したりして、1分以上のつながりのある会話を続けることができる。</p>	<p>・人物や物事について、準備をすれば、写真やイラストなどを示しながら、聞き手に分かりやすく伝えることができる。</p> <p>・自分の好きなことなどについて、即興でその理由などを述べることができる。</p>	<p>・読んだ英文の内容について、考えたことや感じたこと、疑問に思ったことを書くことができる。</p> <p>・学校生活や日常生活に関わる身近な話題について、簡単な語句や表現を使って書くことができる。</p>

図4 中学校英語科4技能5領域別CAN-DOリスト（暫定版）

Creation and Effective Use of CAN-DO List Based on “Student Agency”

English Department, Tennoji Junior High School Attached to OKU

Abstract: Since the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) published “A Guide for Setting Achievement Goals in the Form of CAN-DO Lists in Foreign Language Education at Junior and Senior High Schools” in 2013, we have been creating and revising CAN-DO lists at our school. In addition to the CAN-DO list, a new CAN-DO list reflecting “Student Agency” has been created with the aim of fostering “zest for living” for students who will be living in an unstable society in the future, so that they can think for themselves and act in cooperation with others. In this paper, we present the new CAN-DO list and introduce our class practices based on the list.

Key Words: English education, Student Agency, CAN-DO list, language activities